



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月7日

上場会社名 株式会社IMAGICA GROUP
 コード番号 6879 URL <https://www.imagicagroup.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 塚田 真人
 (氏名) 森田 正和
 TEL 03-6741-5742

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	63,387	△1.7	△691	—	△685	—	△307	—
30年3月期第3四半期	64,464	6.5	1,646	131.1	1,721	63.7	2,197	136.3

(注)包括利益 31年3月期第3四半期 △2,128百万円 (—%) 30年3月期第3四半期 2,796百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	△6.97	—
30年3月期第3四半期	49.36	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	66,122	30,058	40.9
30年3月期	70,529	32,978	41.7

(参考)自己資本 31年3月期第3四半期 27,039百万円 30年3月期 29,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
31年3月期	—	0.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	90,000	△1.5	500	△79.4	500	△79.4	700	△76.2
								15.90

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

(参考)通期の営業利益には、費用としてのれん等償却費約16億円が含まれています。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	44,531,567 株	30年3月期	44,531,567 株
② 期末自己株式数	31年3月期3Q	478,341 株	30年3月期	108 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	44,151,318 株	30年3月期3Q	44,531,459 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、堅調な雇用者所得による個人消費の持ち直し等、景気は引き続き緩やかに回復をしておりますが、一方で、通商問題や海外経済の諸問題による影響の度合いは不透明な状況であります。

当社グループは、映像ビジネスにおいて幅広い事業展開を行い、グループの総合力を発揮し、収益力及び財務体質を強化することに取り組んでおります。なお、当社は、平成30年10月1日付で会社名を株式会社イマジカ・ロボットホールディングスから株式会社IMAGICA GROUPに変更いたしました。

当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績は、売上高は633億87百万円（前年同四半期比1.7%減）、営業損失は6億91百万円（前年同四半期は営業利益16億46百万円）、経常損失は6億85百万円（前年同四半期は経常利益17億21百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3億7百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益21億97百万円）を計上いたしました。

②セグメント別の業績

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

1)映像コンテンツ事業

当第3四半期連結累計期間において、TVCMや、プロジェクションマッピング、屋外広告等の制作案件が好調に推移しましたが、劇場版実写映画の大型作品減少等により、前年同期比では、売上減となりました。営業利益については、アニメーション作品において、劇場版作品や一部TVシリーズ作品、フルCG作品の制作コストが増加したこと等から、営業損失を計上いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は163億34百万円（前年同四半期比6.8%減）、営業損失は1億49百万円（前年同四半期は営業利益7億3百万円）となりました。

2)映像制作サービス事業

TVアニメーション向けポストプロダクションサービス、IT系人材サービスや気象関連情報サービスは受注が好調に推移いたしました。一方、働き方改革に対応して作業体制の変更に取り組むTV番組向けポストプロダクションサービスにおいては、施策の成果により上期業績からの改善はみられるものの、前年同期比では減収減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は200億70百万円（前年同四半期比1.4%減）、営業利益は1億70百万円（前年同四半期比81.3%減）となりました。

3)メディア・ローカライゼーション事業

欧州地域のローカライズサービスの売上は順調に伸長しております。米州、アジア地域においては、映像配信プラットフォーム関連ローカライズサービスの顧客動向の変化により減収となったものの回復傾向にあり、全体としては増収となりました。営業利益については、前期（平成30年3月期）の受注増に対応して拡充した制作体制の見直しを進めているものの、減益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は182億40百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業損失は12億11百万円（前年同四半期は営業損失3億62百万円）となりました。

なお、当該事業分野の業績につきましては、SDI Media Group, Inc. とその子会社の決算日が12月31日であるため、当第3四半期連結累計期間には平成30年1月1日～平成30年9月30日の9ヶ月間の実績を反映しております。

4)映像システム事業

イメージング分野においては国内販売を中心に堅調に推移し、プロ用映像機器分野においては放送局を中心に販売が順調に推移しております。またLSI開発分野においても、引き続き中国向け映像・画像処理LSIの出荷が好調に推移したことにより、増収増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は100億35百万円（前年同四半期比4.3%増）、営業利益は8億22百万円（前年同四半期比29.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10億60百万円（2.7%）減少し、386億円となりました。

これは主に、たな卸資産が増加した一方で、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて33億46百万円（10.8%）減少し、275億21百万円となりました。

これは主に、投資有価証券及びのれん等の減少によるものであります。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて44億7百万円（6.2%）減少し、661億22百万円となりました。

②負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて11億78百万円（4.9%）増加し、250億73百万円となりました。

これは主に、賞与引当金が減少した一方で、その他の流動負債が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて26億66百万円（19.5%）減少し、109億89百万円となりました。

これは主に、長期借入金の減少によるものであります。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて14億87百万円（4.0%）減少し、360億63百万円となりました。

③純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べ29億19百万円（8.9%）減少し、300億58百万円となりました。

これは主に、利益剰余金及びその他有価証券評価差額金の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期通期の業績予想につきましては、平成30年10月31日に公表した数値から変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,131,784	8,527,877
受取手形及び売掛金	18,415,035	14,140,122
たな卸資産	8,031,571	12,898,655
その他	2,142,656	3,076,023
貸倒引当金	△60,010	△41,984
流動資産合計	39,661,037	38,600,693
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,280,813	13,182,627
減価償却累計額	△9,380,072	△9,483,405
減損損失累計額	△77,124	△64,483
建物及び構築物(純額)	3,823,616	3,634,737
機械装置及び運搬具	12,173,703	11,073,849
減価償却累計額	△11,880,924	△10,818,142
減損損失累計額	△117,358	△109,269
機械装置及び運搬具(純額)	175,420	146,437
土地	2,943,085	2,944,295
リース資産	1,514,492	1,818,845
減価償却累計額	△599,989	△965,404
リース資産(純額)	914,502	853,441
建設仮勘定	99,593	21,140
その他	4,811,696	5,250,129
減価償却累計額	△3,171,570	△3,531,706
減損損失累計額	△7,372	△7,270
その他(純額)	1,632,753	1,711,152
有形固定資産合計	9,588,971	9,311,205
無形固定資産		
ソフトウェア	1,213,321	1,180,280
のれん	7,255,938	6,531,436
その他	5,163,572	4,719,369
無形固定資産合計	13,632,833	12,431,087
投資その他の資産		
投資有価証券	4,436,692	2,664,280
関係会社株式	614,858	259,150
敷金及び保証金	1,167,132	1,163,532
繰延税金資産	1,054,660	1,339,018
その他	488,717	465,185
貸倒引当金	△115,614	△111,961
投資その他の資産合計	7,646,445	5,779,205
固定資産合計	30,868,250	27,521,497
資産合計	70,529,288	66,122,191

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,788,972	6,193,413
短期借入金	4,982,314	5,439,659
未払金	3,626,139	3,139,076
未払法人税等	711,802	288,499
賞与引当金	1,514,231	648,405
役員等報酬引当金	95,778	105,663
受注損失引当金	63,449	132,519
その他	7,111,729	9,126,131
流動負債合計	23,894,417	25,073,370
固定負債		
長期借入金	8,891,288	6,677,901
長期未払金	601,062	368,267
繰延税金負債	1,011,906	958,682
退職給付に係る負債	1,259,724	1,341,288
その他	1,892,742	1,643,753
固定負債合計	13,656,725	10,989,892
負債合計	37,551,142	36,063,263
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,244,915	3,244,915
資本剰余金	15,190,725	15,188,696
利益剰余金	9,749,118	8,996,239
自己株式	△42	△489,754
株主資本合計	28,184,716	26,940,096
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,689,371	646,077
繰延ヘッジ損益	△388	—
土地再評価差額金	△17,933	△17,933
為替換算調整勘定	△433,870	△530,611
退職給付に係る調整累計額	3,942	2,153
その他の包括利益累計額合計	1,241,121	99,686
非支配株主持分	3,552,306	3,019,145
純資産合計	32,978,145	30,058,928
負債純資産合計	70,529,288	66,122,191

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	64,464,904	63,387,860
売上原価	47,038,039	47,127,991
売上総利益	17,426,864	16,259,869
販売費及び一般管理費	15,779,940	16,950,960
営業利益又は営業損失(△)	1,646,924	△691,090
営業外収益		
受取利息	3,218	1,782
受取配当金	34,406	33,562
持分法による投資利益	39,860	38,788
為替差益	26,233	33,055
その他	111,780	167,670
営業外収益合計	215,499	274,859
営業外費用		
支払利息	117,322	242,071
その他	23,181	26,964
営業外費用合計	140,503	269,036
経常利益又は経常損失(△)	1,721,919	△685,267
特別利益		
固定資産売却益	5,280	2,801
投資有価証券売却益	—	369,510
関係会社株式売却益	2,177,929	—
特別利益合計	2,183,210	372,312
特別損失		
固定資産売却損	183	24,326
固定資産除却損	13,946	23,723
減損損失	14,139	9,070
移転関連費用	—	22,100
労働災害関連損失	88,809	—
その他	87,432	5,733
特別損失合計	204,512	84,953
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	3,700,617	△397,908
法人税等	1,672,092	527,048
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,028,524	△924,957
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△169,351	△617,393
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	2,197,876	△307,564

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	2,028,524	△924,957
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	820,317	△1,047,546
繰延ヘッジ損益	—	388
為替換算調整勘定	△52,086	△154,193
退職給付に係る調整額	142	△1,788
その他の包括利益合計	768,373	△1,203,139
四半期包括利益	2,796,898	△2,128,097
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,000,319	△1,448,999
非支配株主に係る四半期包括利益	△203,421	△679,097

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成30年5月24日開催の取締役会決議に基づき、自己株式500,000株を取得しております。また、平成30年6月26日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式21,769株を処分しております。

主にこれらの影響により、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が2,029千円減少、自己株式が489,712千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が15,188,696千円、自己株式が489,754千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ ローカライ ゼーション	映像 システム	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	17,377,352	19,864,977	17,792,428	9,322,736	64,357,495	107,408	64,464,904
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	145,754	495,586	257,000	298,205	1,196,547	△1,196,547	—
計	17,523,107	20,360,563	18,049,429	9,620,941	65,554,043	△1,089,139	64,464,904
セグメント利益 又は損失(△)	703,368	912,396	△362,961	635,054	1,887,856	△240,932	1,646,924

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△240,932千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益1,023,480千円及びセグメント間取引消去△1,264,413千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像 コンテンツ	映像制作 サービス	メディア・ ローカライ ゼーション	映像 システム	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	16,220,120	19,368,893	17,971,102	9,742,475	63,302,591	85,268	63,387,860
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	114,025	701,233	269,150	292,893	1,377,302	△1,377,302	—
計	16,334,146	20,070,127	18,240,252	10,035,368	64,679,894	△1,292,033	63,387,860
セグメント利益 又は損失(△)	△149,283	170,817	△1,211,659	822,344	△367,781	△323,309	△691,090

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△323,309千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益893,477千円及びセグメント間取引消去△1,216,787千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。